

刊夕日九月四



定例一週金五圓... 發行所 常盤屋新聞社... 電話 六三三〇番

花祭りを迎へて

眞 繼 雲 山

今から約二千五百年前の四月八日は、大聖釋尊が中印度、藍毘尼園において御降誕あそばされた吉日であります。古往今來、地上に唯御一人の大恩教主の御降誕であるだけに、それは暑からず寒からず、而かも鳥唄ひ花咲き亂るゝ理想的の吉日が自然に恵まれてゐたやうにも思はれます。この日に佛のお生れあそばす事實が無かつたならば、少くとも地上に現在の佛敎は有り得なかつた筈であります。

その後、印度の龍樹、世親などの諸菩薩をはじめ、三國に亘つて多くの祖師大徳が出現して下さいましたけれど、何れも釋尊の敎へを中心とした以外の何ものでもありません。これが何人も釋尊を地上の大恩教主と仰ぐ所以であります。

この尊き四月八日を記念し、更生するために、今日では花まつりと稱して全國の津々浦々にいたるまで佛陀の榮光を祝福いたします。花祭りと言ひはじめたのは極く近年のことであり、古くから佛の降誕を壽ぐ儀式が行はれて來ました。一名

これを佛生會、龍華會、誕生會などとも申します。灌佛とは佛にそゞと書きます。釋尊が藍毘尼園は無憂樹の下に御降誕あるやもろゝの天華降りしきり金色の光りと共に二流の旗が天降りしと見るゝ内にその旗たちまち金色の龍と變じ、功徳の水を灌いで太子ならびに母后麻耶夫人を清め奉つたといふ故事により、灌佛會または龍華會と申すこととあります。

太子、四方に行くこと七歩自ら獅子吼して『天上下、唯我獨尊』の語を發せられたと傳へられます。昔の式では五色の香水でありましたが、今は甘茶をそゝがれつゝ花見堂の中央に天上天下を指してゐたまふ、『誕生佛』は、そのときのお姿を表象したものであります。私たちがまた生死を越えて絶對の境地に立ち、無我に往して衆生に奉仕し得ば、それは矢張り自己としての最尊最貴の存在であると信じます。

おけば一年中むかひでや、その他の毒虫の害を受くることとが無いとの傳説が本朝日記の秘録に見えてゐます。一つ御實行あそばせ。

さてこのかん佛會は摩訶利頭經その他にその儀軌ありて、孟蘭盆會と共に古くから印度傳來の二大式典とされてゐます。支那にあつては法顯三藏が干闥國等における佛生會の儀式を目撃し歸りて以來、北魏孝文帝の大和廿一年、宮中にて散華禮敬あり、示來宮中の行事となつて來た。また本朝にありては既に早く推古天皇の十四年に齊會を設け給ふたとあり、『水鏡』には、『承和七年四月八日はじめてかん佛を行はれしなりあり』とあり、その以降、民間は固よりのこと宮中におかせられたの、御行事たゞ々々奪き極みであります。

古く佛傳の作者は『釋迦八相記』といふを草しました。八相示現のことは大乘起信論、天臺四教儀等にその説あるに由來します。その八相は一に兜卒天二に託胎三に出生、四に出家五に降魔、六に成道、七に轉法輪、八に入涅槃であります。佛敎化道の御方便は必ずしもこの八相に限るにはあらず、娑婆に往來し給ふこと八千遍、實には無量無邊であつて、今も尚ほ無相の相として私たちを御教化下されてゐるのであります。さうしてその御教化をこの現身に感應道交するが信心であります。鬼もすれば名利の巷に退轉し易い私たちに取つて、四月八日の佛生會こそは、更生の第一日であり、その花まつりこそは祝福すべく深き意義を拜することとあります。

魚清食堂部改築御披露
何卒御立寄下さい
例年の通り

最大魚折詰……二十錢より
勉強壽司折詰……二十錢より
本年の折箱は特に最新式の文化折箱を使用致します

多数は特に御相談に應じます

せ印 魚清食堂折詰部
平町字二丁目
電話六三三番

古く佛傳の作者は『釋迦八相記』といふを草しました。八相示現のことは大乘起信論、天臺四教儀等にその説あるに由來します。その八相は一に兜卒天二に託胎三に出生、四に出家五に降魔、六に成道、七に轉法輪、八に入涅槃であります。佛敎化道の御方便は必ずしもこの八相に限るにはあらず、娑婆に往來し給ふこと八千遍、實には無量無邊であつて、今も尚ほ無相の相として私たちを御教化下されてゐるのであります。さうしてその御教化をこの現身に感應道交するが信心であります。鬼もすれば名利の巷に退轉し易い私たちに取つて、四月八日の佛生會こそは、更生の第一日であり、その花まつりこそは祝福すべく深き意義を拜することとあります。

サートン 萬年筆
無代進呈!!!
學生用責任付の腕時計
お買上げの方に……

修繕半額
ガラス入替金五錢

秋山時計店
平 驛 前

堂々……
斯界の群を抜く
最高級車プロソモス號
今般増車致しました
何卒御用命は

電話三九五番へ
セリザワタクシ

お客様本位の……

正確な時計
正一常盤屋時計店
好適の眼鏡

光輝ある

皇國の犠牲

壯烈鬼神を泣かしむと

村井知事の祭文

本年度の忠魂祭には今回の日支事變の戦死者に對する弔問の意味から特に村井本縣知事より左記祭文を寄せられたので町村長支副會長鈴木小名濱町長が代讀する筈

茲に福島縣町村長會石城支會並に帝國在郷軍人分會石城郡聯合分會主催辰辰日清日露日獨

各役戦死 病死者並に

今次の滿洲上海事變戦死者忠魂祭を舉行せらるゝに臨み謹みて諸英靈に告ぐ、願はば距今六十餘年世機一度動きて以來我國運は舊套を一新し急轉直下して以て今日の隆昌成をせられしもの恟に世界史上空前の偉觀たり然りと雖此間勢の避くべからずして干才を動せる事正に四回加ふるに最近隣邦

中華民國の政令中正

を缺き遂に今次の滿洲事變を惹起するに至る各位や即ち斯も光輝ある皇國の犠牲として身を以て君に奉せしもの其壯烈鬼神を泣かしむ小官今各位の靈前に起ち思ふて此に至れば感慨轉た禁せざるものあり、今や國家

皇基を固うせよ、時方に春陽の候松ヶ岡の櫻花爨燼たる所英靈髮髯斯の祝典に監臨せらるる幽明所を異にする

福島縣知事村井八郎

果樹類の栽培と販賣

郡會で協議

事績々多くして難彌々加はる各位の芳烈千秋に傳はる善く後進をして起たしむべく英魂永へに護國の神たり

石城郡農會では十三日午前九時より團體事務所にて郡下果樹組合の聯合會を開催果樹の栽培並に販賣に就き協議を行ふと

好評に活氣付き

極度の生産能率

濱三郡の木炭増加

濱三郡木炭同業組合員の去月中に於ける生産高を見る

すると一四、三三二俵の増加を示して居るが是れは東京方面市場に於いて同組合製品が好評噴々たるに活氣付き生産能率を極度に上げた爲めである

道路改修に

率先して寄附

道路愛護運動起る

縣下一と稱せられる郡下の自動車運輸は地方産業の發達に非常な貢獻を奏して居るが一方頻繁なる是れが通行に縣町村道路の破壊甚だしく改修の急を要するもの

では自發的に道路改善の爲め愛護運動を行つて居るが石城郡草野村大字下神谷字赤沼の區長新妻忠五郎氏は組長久田淺之助外六名と協力し村内道路改修の爲め自ら率先して寄附をなし改

平驛の

収入

六年度分

平驛の六年度(本年三月三十一日迄)中の總収入は三十三萬五千六百六十四圓八十

あるこの中旅客二十四萬六千八百三圓六十四圓貨物六萬九千六百九十四圓八十九圓手小荷物一萬八千六百十七圓七十七錢である

福島貯銀が

平支店設置

福島貯蓄銀行では濱通りに進出すべく平町に支店設置方を主務省に申請中である

縣下の中學校長

會議も平町にて

縣下高等女學長會議が来る廿六、七兩日平町に開かれる事は既記の如くであるが縣下中學校長會議も同日磐城中學校に開かれ廿七日正午から兩校長達が連れ立つて博覽會を參觀する豫定である

殉職者

慰靈祭

警親會が

廿四日に

警察關係者を以て組織された平警親會は現在百五十名に近く會員を有し非常に有力な團體となりつゝあるが二十四日午前十時から總會を開き役員の改選並にその他の事項を協議し殉職巡査倉田親之、鈴木源七並に故大井川伊勢松、佐々木庸三、萩音次郎五氏の慰靈祭を舉行し終了後午後三時から懇

國稅の

激減

前年より

約六割方

石城郡下の三月中國稅收入につき平稅務署で調査したところ總額十五萬九千六百九十一圓八十九錢にして前年同期の二十五萬九千四百三十五圓十二錢に比すれば九萬九千七百四十三圓二十三錢六割の激減を示してゐるその主なる減收は酒造稅が一萬三千三百餘圓地租が一萬六千餘圓その他諸稅總て減じてゐる

吉田校長出席

平商業學校吉田利吉氏は来る二十六、二十七の兩日原ノ町農藝學校に開かれる縣下實業學校長會に出席の爲め二十五日出發すると

募 三勇士遺族の

甲慰金の

嗚呼忠勇無比の三勇士何ぞ其の壯烈なりしぞ鬼神も爲めに慟哭せむ、實に振古未嘗有驚天動地の偉業にして人生を超越し洋の東西に冠絶す、古今英雄多しと雖も蓋し三勇士に如くものなからん宜なる哉其の心情英雄以上の英雄なり、今や同胞國を擧げて戦に赴かんとする誰か彼の三勇士に感激せざるものあらむ殊に目下外交は危機に瀕し東亞の風雲彌々急ならむとする秋、内は國民の士氣を鼓舞し外は國家の威武を宣揚する誠三勇士に負ふ處甚だ大なるを痛感するなり、名將曰く「吾が皇國も三勇士ありて亡びず」と真に至言にして正に彼を弔ふ最大最高の弔辭なり、然り彼等三勇士こそ日本軍人の龜鑑にして大和民族發展の尊き犠牲者なり、吾人は彼等殉國の忠誠を永遠に紀念し併せて千古不磨の英靈を弔はん爲め彼の三勇士遺族へ薄志を饒け以て聊か勇士の靈を慰んとす

主唱 阿部政右衛門
後援 常磐毎日新聞社

一、弔慰金一人金拾錢均一に願ひます
二、右弔慰金は平驛前丸ッ阿部石炭店又は常磐毎日新聞社に御届を乞ふ
三、寄附者芳名を常磐毎日新聞紙上に掲載領收書に代ふ

寄附者芳名 第二十分分

鎌田町	木田 實	同	入江 ツネ
同	鈴木 静枝	同	大越 啓任
同	根本 イリヨ	同	片寄 ヒサノ
同	猪狩 トミ	同	金成 直藏
同	吉村 重之	同	同 忠 義
同	木田 満昌	同	野上 千代
同	平林 ハル	同	本田 キミ
同	望月 卓次	同	箱崎 たけ
同	小野 スツ	同	仲野 タケ
同	同 キ	同	永山 龜江
同	高野 亥之吉	同	木田 常太郎
同	平澤 ハル	同	矢部 義夫
同	材木町	同	同

不在中に 空家同然

日星しい物

みな盗まる

石城郡小名濱町古港會社員鈴木次方で七日午後八時頃家人が不在中裏庭より何者か忍入衣類十数点(時價八十圓)及び懐中時計其他主なる家財道具百五十圓餘を窃取され空家同様にたつて居るのを歸宅後發見直に警部派出所に届出たので平署では目下犯人嚴探中である

振るひ落されて 残るは八名

昨日の巡査試験 其内半数覺束なし

昨既昨日平署で行はれた本縣巡査採用試験には百數十名の應募者あり係員を驚かしたが最初の作文試験で約半数がふるひ落され次の算術・國語、地理、歴史と各科目毎に十人乃至廿人落伍して最後の口述試問の行はれた午後七時頃は百五十名中残る者僅に十名となり更に体格検査を行つて二名が惜しくも破れ最後の八名が見事合格者と見なされる事に決定したが今後嚴重な身元調査を行つた上に八名中

いよ、茨城縣下の風城炭礦が買収し復活させる事になり四日から坑夫若干名使役して坑道整理にとりかゝつた

平第二校 圖書展

平第二小學校にては明日より二日間在校生一同の圖書展覽會を催すが審査員は同校圖書研究部員にて優秀なるものに對しては夫々賞状を授與すると

詐欺鮮人

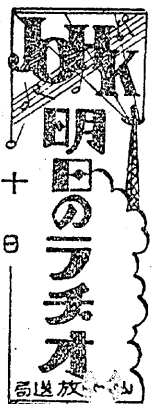
昨日の公判

相馬郡原の町居住朝鮮人吳永淳事、ベッキ職西村政雄(三)が去月二日平町字大町ベッキ塗業只野清方に至り自分は東京市に於ける一流のベッキ職塗業田村の弟子なりと詐り外交員に雇はれ諸方より合計百二十三圓を騙取したる事件の公判は昨日午後一時より平區裁判所に於て佐々木判事係り市川檢察立會の下に公判開廷事實訊問を爲し詐偽罪として直

無保償で 平治療院拂下

許可書來る

既報本月一日より廢止された縣立平治療院の建物敷地等の處分に就いては既記の如く地元貸座敷營業組合が無保償にて拂下を受け組合附屬醫院となすべく豫より縣當局に申請中の處本日村井知事から拂下許可書が平



今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 漫遊劇團子申助漫遊記
- 東京ともだち座
- 後六、三〇 講演 警視總監大野緑一郎
- 融に現れた國際主義と國民主義 名古屋高商教授高島佐一郎
- 後八、〇〇 臺灣音樂 臺北放送局發大阪中繼
- 後八、三〇 尺八と俚謡

浦本浙湖外

- 後八、五〇 ビアノと管絃
- 樂 フローレンスヒュブナー 梶山夫人
- 後九、三〇 奉天より
- 後九、四〇 全國ニュース
- 氣象通報 番組豫告
- 明日の部
- 前九、一〇 養料料理「鱈を榮養百パーセントに調理する」は一榮養研究所
- 前九、三〇 子供の時間
- お話「櫻理學博士川村清

第一校觀櫻會

- 前二、〇〇 宗義講話「宗教上より見たる滿洲」古義眞言宗總本山高野山前宮大衆大團
- 前二、三〇 謠曲講座「謠の道しるべ」解説池内信嘉
- 前二、〇〇 法要中繼
- 「法然上人降誕八百年慶讚會大法要状況」京都智恩院より中繼
- 後二、五〇 獨唱とマンドリン合奏 上野公園發明博覽會々場より中繼
- 唱伊藤敦子
- 後二、二〇 脚本朗讀 喜劇「牛を喰ふ」東京黒幕座
- 後一、五〇 運動競技「全布哇對、慶應野球試合状況」明治神宮外苑野球場

第二校觀櫻會

- 後八、一五 等曲「摘み草」
- 後八、三〇 獨唱とピアノ
- 獨奏江藤輝外
- 後九、〇〇 講演 傳傑
- 後九、三一 奉天より

物騒男 罰金言渡

平町立町百一番地司馬捨十郎方菓子行商會利菊雄(三)は去月十六日より二十七日迄の間又渡四寸八分の匕首を携帯して歩き廻り銃器取締法違反として本日罰金二十圓略の式命令を以て處分せらる

就職苦の少年 漂然行衛を晦す

石城郡好間村字上好間山崎豊治(四)の三男英吉(六)は本年同村小學校高等科を卒業し職工見習として就職せんと各方面に運動して居たが未だに就職の當てが無いのに悲觀し八日午後六時頃活動見物に行くと稱して家を出た儘行衛を晦したので家人は驚いて平署に搜索願を出して來た

赤十字入團式

平第一小學校にては本日午前十一時より五年生二百名の少年赤十字團入團式を舉行した

小名濱

築港浮む

小名濱港の七年度實行豫算は豫てより内務大藏兩省で協議中であつたが昨八日三十五萬圓に正式決定を見たので内務大臣からのその旨本縣知事宛通牒した尙この外に産業開發事業費が大藏省で認められれば相當な額をこれに追加されるはずである

復活 朝鮮炭礦

石城郡内郷村白水元朝鮮炭礦は財界不況から經營難に陥りかねて休山してゐたが

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫

【第廿三席】

神影流の達人秋山要介

(32)

計略の裏をかく

秋山要介は根岸の道場に
て師範番の杉山五郎兵衛を
呼び

要「水戸家は俺が伊井家に
相變ず出入をいたすそれを
見る爲に忍びの者を邸の周
圍に出して置くと聞いたが
それは事實か」

杉「左様でございます、見
慣ぬ武家が門前を徘徊いた
して居ると承りました」

要「小刀細工をする奴だナ
よし、俺が一つ泡奴等に
吹かして遣る」と云つたが
その日の暮方住居を出て櫻
田の井伊家の上邸近く參る

と濠端の柳の下に武家が二
人佇み頻に井伊家の邸を見
てゐる、これは水戸家の家
來に相違無いと思ひ、秋山
は故實に通用門の前へ來て
暫く佇み居つたが躰て引返
して日比谷門の方を指して
行く、スルと濠端に居た二
人が後を附いて來た、數寄
屋橋見附近で來た秋山は振
向いて二人の近寄つて來る
のを待ち

要「各方は拙者の後を慕ふ
て參るが、何れの御藩士に
て何の用事があつて追うて
參つた、返答によつては其
分には捨置かぬ」と刀の柄

に手を掛けた二人はびつこ
りして

○「暫くお待ち下さい、我
々は松平出羽守の家臣でご
ざいます、先刻貴公をお見
受け申しまして秋山先生で
は無いかと、それでお後を
慕うて參りましたとござる
要「ア、左様か、松平出羽



守殿御家來か、拙者を秋山
と知るからには用事がある
に相違ない、それを承るで
あらう」

○「左様、エ、その事に就
きましては申上げる事もご
ざいます」と云つたがこの

へ」
要「さうでない、貴公方が
先へ立つが宜い、就ては今
だからお話し申すが實は各
々を物取りと存じ先日求め
た新刀を託すに屈強の逸物
近寄れば眞二つにして呉れ

二人は水戸の家來で秋山が
井伊家に入りをする處を
見定めるつもり、然し憐う
秋山に問はれて何とか用事
を拵へなければならぬ
○「實は何で御座る、御願
ひ申す事が御座つて」
要「ア、左様か、どういふ
事か承るであらう、然し此
處は往來拙者の馴染の料理
店にて酒を飲みながらゆる
承るであらう、同道なさい」
と云はれて斷る事もならず
○「さア、先へ立つて參
るが宜い芝の久保町の料理
店賣茶に打寛いでお話を承
るであらう、先に立つて行
かつしやい」

○「イヤ、先生がお先
んと樂みにいたして居つた
が、出羽殿の御家來と聞い
て大きに失望いたした」二
人は之を聞いてブルブルと
慄へた
○「先生亂暴な事を爲さ
いますナ」
要「賊でない貴公方を斬つ
て何とする先へ立つて行か
つしやい、ウ、よい體だナ
ズバリと斬つたならば定め
し手應へも御座らう、二人
打揃つて逃げればとて、一
人には此小柄を打付け、一
人は飛びかゝつて斬つてす
てる
○「先生感しては叶いませ
ん」二人は飛んだ事になつ
たと思つたが逃げる事も出
來ない、そこで久保町の賣
茶に來ました女中の案内
で奥の八疊に通つた
要「早く酒を持つて參れ肴
を吟味してナ」
女「畏まりました、お中酒
でございますか」
△「いや本膳に献立をいた
せ」
女「承知いたしました」
賣茶は有名な上席茶屋で結
構な料理を出し、座敷には
燭臺一挺ともしてあります
から眞晝のやう、秋山は二
人に盃を差し
要「この吸物は美味だて料
理人の腕がこれで判るナ、
出羽殿の御家來料理人へ祝
儀を與へなさい、又この女
子にも百足道はして宜しか
らう」二人はいよいよ驚い
た、茲で一分づつ祝儀を與
へる、料理番が禮に來て
料「秋山先生有難うござい
ますと要介に向つて頭を下

げる、金は他から出てゐて
禮を云はれるは要介大分座
敷が陽氣になつた時に
要「あまり酷罰いたすと各
々のお話を聞くことが出來
ない、一體でういふ用事が
あるか」
○「先生にお願ひ申す事が
ございまして」
要「ウン承知した、コレコ
レ女中、暫く引取つてくれ
内談がある」
女が立つて行くその後で刀
をズンと膝元に引付け二人
をデロリと見廻し
要「拙者にお願ひとは何事
か、定めし仔細あることで
あらう、それを云へ語れ
ツ」威かされて二人は顔色
を變へた。

看護婦急派 の求めに應 じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

一册の代金で
御希望通りな
五册の雑誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電六三〇番
申込次第規則書進呈

貸切は●●●

セダン揃ひで
貸切専門の
昭和タクシーへ
電話三四三三

ろん病
こしけ 永らく悩む人の福音
天下の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥



全國知名新聞 朝日、東京日々、大阪毎日、富士、
雜誌 推獎 講談俱樂部、主婦之友廣告乞御參照
右は岩瀨家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし
慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服
するも絶對胃腸傷害なき各藥であります
尙ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効なき時は
殘藥引換に全部異議なく返金します
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢
性、悪性の人は七日以上服差して下さい。
美本淋病治療書無代進呈、此の新聞各記入申込者に
付前金申込者には送料無料、新品送藥す。
代金引換廿三錢手数料金納の事。

藥價
急性用(黒箱) 一週分 參圓
慢性用(赤箱) 一週分 五圓
特約一
手販賣
阿康藥舖
縣社ノ下(電話四四番)

●小兒下痢一切小兒腸胃散 ● 堀藥局
平町二丁目
電話三二六番

セメント
壁用材料
コーンタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目(電三)